

外国語科学習指導案

府中市立第一中学校

- 1 日 時 平成 30 年 9 月 27 日 (木)
- 2 学 年 第 1 学年 1 組 33 名 (男子 18 名 女子 15 名)
- 3 単元名 Unit 5 学校の文化祭
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、緑町中学校の文化祭での対話を通して、What's this? や How is ~? 等の特殊疑問文を用いて自分が知らないものを尋ねたり、形容詞の叙述用法を用いてもものの性質や状態などについて話したりすることをねらいとしている。また、世界の朝食が紹介されており、様々な国の食生活や食文化についての理解を深め、興味関心を高めるきっかけとなる単元であり、外国の食文化の理解をすると共に、自国や地域の食文化の良さも改めて感じるきっかけとすることができる。

ここでは、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説外国語編「話すこと[やり取り]」の「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」に基づき、レシピを紹介しあう場面でのやり取りを通して、積極的に話す態度を育成することができる。また、授業でも生徒にとって身近である食事を話題に取り上げることで、言語活動の幅を広げていくことができる単元でもある。

(2) 生徒観

今年度の 4 月に小学校の外国語活動についてアンケートを実施した。主な質問項目についての結果は以下の通りである。

質問項目	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
英語を使ってみようと思うようになった。	32%	52%	16%	0%
ゆっくりはっきりと話されれば、だいたい内容が聞き取れるようになった。	48%	43%	6%	3%
簡単な英語を使って、質問したり答えたりできるようになった。	38%	49%	13%	0%
簡単な英語を使って、自分のことや自分の考えを言うことができるようになった。	48%	42%	10%	0%
アルファベットを読んだり書いたりすることに興味をもつようになった。	35%	39%	26%	0%

アンケート結果から、「ゆっくりはっきりと話されれば、だいたい内容が聞き取れるようになった。」「簡単な英語を使って、自分のことや自分の考えを言うことができるようになった。」という項目に関しては、90%以上の生徒が肯定的な回答をしており、小学校外国語活動で「聞くこと」「話すこと」の基礎的な技能は身に付いていると言える。一方、「英語を使ってみようと思うようになった。」という項目に関しては、肯定的な回答が 84%、「アルファベットを読んだり書いたりすることに興味をもつようになった。」という項目に関しては、肯定的な

回答が74%となっている。このことから、小学校外国語活動で身に付けた「聞くこと」「話すこと」を中心とした基礎的な技能をどのように生かすか、「読むこと」「書くこと」の領域にどのようにつなげるかが今後の課題であると言える。

また、本年度の7月に表現の能力のテストを行った。結果は以下のとおりである。

「書くこと」(基礎) 英作文(自己紹介 10文)	90%以上	62%
	80%以上	16%
	50%以上	13%
	20%以上	6%
	19%以下	3%

「書くこと」(応用) 英作文(他者紹介 2文)	90%以上	19%
	80%以上	35%
	50%以上	9%
	20%以上	25%
	19%以下	12%

「話すこと」 (自己紹介 30秒)	11文以上	3%
	10文	22%
	9文	22%
	8文	28%
	7文以下	25%

この結果から、「書くこと」については自己紹介文など小学校の外国語活動等言い慣れ、授業で書き慣れた既習事項については書くことができるが、他者紹介文など新出事項が含まれ、自分で考えて書くことは十分とは言えない。また、「話すこと」については、即興で、10文程度、授業において言い慣れた表現を使って話すことができるが、さらに発展させて話すことはまだ十分とは言えない。学習したことを生かしてどのように活用していくかが今後の課題である。

(3) 指導観

まず、生徒の生活実態にあった府中市の取組に関連付けた食材を使ったレシピを紹介するというパフォーマンス課題を設定することで、「話すこと[やり取り]」がより継続するような場面設定をする。府中市では毎年、『道の駅びんご府中レストラン』でおすすめしたいレシピを児童・生徒が考え応募するという取組が行われている。受賞したレシピは商品となって道の駅で販売されたり、メニューとなってレストランで提供されたりする。家庭科の宿題として、夏休み作成したレシピを外国語科で取り扱うことで、教科横断型の単元となるように仕組む。オリジナルのレシピについてのやり取りを通して、府中市の食文化の良さに改めて気づききっかけにしたい。そのために、教科書を活用し世界の料理や食べ方の特徴を学習し、外国の食文化を知る単元導入にする。世界から地域にクローズアップさせるグローバルな「社会に開かれた教育」を展開する。

「話すこと[やり取り]」については、第一中学校のCAN-DOリストの学習到達目標である「自分の知らないことやものについて、簡単な語句や文を用いて伝え合いながら、4往復程度の対話で話すことができる。」を達成するために、生徒に会話を継続・発展するためのポイント(「中学校学習指導要領解説外国語編 p61」「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック p81」)を意識させながら、相手からの質問に対しその場で適切に応答し

たり、関連する質問をしたりして互いに会話を継続する活動をさせる。また、ペアを変えることや既習表現を使うことで、即興性を生み出す。

また、「話すこと[やり取り]」の学習内容を、「読むこと」「書くこと」の学習につなげるようにする。自分のレシピを紹介し合う（「話すこと[やり取り]」）一方で、小学校外国語の「書くこと」の指導と同様に、やり取りで使った英文を書き綴っていく学習を行う。このように、やり取りを踏まえた「読むこと」「書くこと」の学習に発展させていく学習を繰り返し行う。これらの指導により、小学校外国語活動で身に付けた「聞くこと」「話すこと」を中心とした基礎的な技能を活用させながら、「読むこと」「書くこと」の学習につなげることができ、生徒の「読むこと」「書くこと」に関する興味を高めることができると考える。

5 単元目標

- ・ レシピについて、積極的に質問して対話を続ける。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

- ・ 料理の味などの感想について相手に質問したり、相手の質問に対し自分の感想等について話したりする。

(外国語表現の能力)

- ・ 疑問詞で始まる疑問文の意味・用法に関する知識を身に付ける。 (言語や文化についての知識・理解)

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
自分が知らないものやことについて、積極的に質問して対話を続けようとしている。	自分が知らないものやことについて、質問したり相手の質問に対し自分の感想等について話したりすることができる。	/	疑問詞で始まる疑問文の意味・用法に関する知識を身に付けている。

7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	道の駅レストランで外国の人にオリジナルレシピを紹介するために、お互いにわからないことについて尋ねたり、ものの性質や状態などについて説明したりして、4往復以上のやり取りができる。
目指す発話例	<p>A: What's this? B: It's <i>omu miso raisu</i>. (オリジナル料理名: オム味噌ライス, みそ〜ス・ミンチカツ, 諸田のごぼう味噌スープ)</p> <p>A: What's this? / Is it sauce? B: It's miso. / No, it's not. It's miso. Fuchu is famous for miso.</p> <p>A: How's the <i>omu miso raisu</i>? B: It's rich miso taste.</p> <p>A: That's good. What do you have? B: I have rice and miso. I also have an egg and leek.</p> <p>A: I see. B: How about you?</p>

8 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

(1) 関連する単元及び言語材料

Let's Try1!	Let's Try!→We Can!	We Can1!	We Can!→中学校	中学校
Unit8 What's this?	be 動詞→一般動詞	Unit3 What do you have on Monday?	言語の使用場面 学習→食事	Unit5 What do you have for breakfast?

(2) 言語活動「自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり，相手に関する簡単な質問をその場でしたりして，短い会話をする活動」を踏まえた指導をする。「話すこと[やりとり]」言語活動(ウ)

(3) 会話を継続・発展するためのポイントを活用する。

- ①対話の開始 ②繰り返し ③一言感想 ④確かめ ⑤さらに質問 ⑥対話の終了

(例) ②miso, carrots, onion and burdocks…

③It's healthy. You eat a lot of vegetables.

④burdocks?

⑤How about onion?

(4) 他教科等で学習したことを活用したり，学校行事で扱う内容と関連付けたりする。

総合的な学習の時間 小学校
府中を知る
府中の特産物について知る

家庭科 第1学年
献立作りと食品の選択
レシピを作成及び調理実習

外国語 第1学年
Unit 5 学校の文化祭
府中の地産物・特産物を生かしたメニュー(商品)を道の駅に訪問する様々な地域や国の人に発信

9 単元計画

時	目標(◆)・主なやり取り等	評価規準・評価方法
1	◆What's this? It's~.等の小学校での学習事項を音声で理解する。	エ 観察 振り返りカード
2	◆疑問詞 What で始まる疑問文の意味・用法を理解し，知らないことについて尋ねたり答えたりする。 A: What's this? B: It's <i>omu miso raisu</i> . A: What's this? B: It's miso.	エ 観察 ワークシート
3	◆ お互いのレシピについて知らないことを尋ねたり答えたりして対話を続けようとしている。 A: What's this? B: It's <i>omu miso raisu</i> . A: What's this? / Is it sauce? B: It's miso. / No, it's not. It's miso.	ア 観察 振り返りカード

4	<p>◆疑問詞 How で始まる疑問文の意味・用法を理解し、ものの性質や状態などについて話す。</p> <p>A: What's this? B: It's <i>omu miso raisu</i>. A: What's this? / Is it sauce? B: It's miso. / No, it's not. It's miso. A: How's the <i>omu miso raisu</i>? B: It's rich miso taste. A: That's good.</p>	エ 観察 ワークシート
5	<p>◆お互いの料理の味などについて尋ねたり自分の感想を伝えたりして会話を続けようとしている。</p> <p>A: What's this? B: It's <i>omu miso raisu</i>. A: What's this? / Is it sauce? B: It's miso. / No, it's not. It's miso. Fuchu is famous for miso. A: How's the <i>omu miso raisu</i>? B: It's rich miso taste. A: That's good.</p>	ア 観察 振り返りカード
6	<p>◆疑問詞 What で始まる疑問文の一般動詞の場合の意味・用法を理解し、朝食に何を食べるかを尋ねたり答えたりする。</p> <p>A: What do you have for breakfast? B: I have rice, and miso soup. How about you? A: I have ~ and ~. I also have ~ and ~. B: <u>I see.</u></p>	エ 観察 ワークシート
7 本時	<p>◆お互いのレシピについて知らないことを質問したり、相手の質問に対し自分の感想等について話したりして、対話を続けようとしている。</p> <p>A: What's this? B: It's <i>omu miso raisu</i>. A: What's this? / Is it sauce? B: It's miso. / No, it's not. It's miso. Fuchu is famous for miso. A: How's the <i>omu miso raisu</i>? B: It's rich miso taste. A: That's good. What do you have? B: I have rice and miso. I also have an egg and leek. A: I see. B: How about you?</p>	ア 観察 振り返りカード イ 後日パフォーマンステスト

8	<p>◆お互いのレシピの食材について尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>S1: What's this? S2: It's ~. S1: What's this? / Is it ~. S2: It's ~. / No, it's not. It's a ~. Fuchu is famous for~ S1: How is the ~? S2: It's ~. . S1: That's good. What do you have ~? S2: I have ~, ~ and ~. S1: I see. S2: How about you?</p>	<p>イ</p> <p>【パフォーマンステスト】</p> <p>即興性を出すために、以下の質問を行う。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Is your recipe easy? • Do you like carrots? • What vegetable do you like?
---	--	--

9 本時の学習展開

	学習活動	JET の活動	ALT の活動	<p>・指導上の留意事項</p> <p>◎評価規準<評価方法></p> <p>【評価の観点】</p>
挨拶	1 挨拶をする。	・挨拶をする。		
導入	<p>2 ウォームアップ 既習表現を使って自己紹介をする。</p> <p>3 本時のめあての確認をする。</p>	<p>道の駅レストランで外国の人にオリジナルレシピを紹介するために、質問したり答えたりして、積極的に対話を続けよう。</p>		<p>・選んだ話題について、関連した内容で会話が継続できるようにリテリングカードを工夫させる。</p> <p>・次回が単元末のパフォーマンステストであることを伝える。</p>

展 開	<p>4 Activity</p> <p>① レシピを紹介するために、本文 part3 の有効な英語表現を確認する。</p> <p>② ペアでレシピの食材などについての会話のやり取りをする。</p> <p>③ 他にどのような英語表現が使えるか考える。</p> <p>④ レシピに使われた府中の主食材やおすすめポイント、味などについての会話のやり取りをする。</p> <p>・実際に道の駅で外国人に会った想定で、ALT に府</p>	<p>・本文の英語表現で活用できるものを考える。</p> <p>○Really?</p> <p>○You have a lot.</p> <p>○What do you have?</p> <p>○I have ~. I also have~.</p> <p>○What do you have for <u>breakfast?</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>レシピ紹介の場面に活用</p> <p>○What do you have?</p> <p>道の駅で初めて出会った外国人観光客を想定し、「What do you have?」の英語表現を導入する。デモンストレーションを行い、使用場面を理解させる。</p> <p>・机間指導をし、会話に行き詰っている生徒に支援する。</p> <p>○つなぎ言葉など</p> <p>・レシピを紹介する会話を継続・発展させるために、他にどのような英語表現が使えるか考えるように指示を出す。</p> <p>○Do you like ~?→さらに質問</p> <p>○I have carrots.→You have carrots. 繰り返し</p> <p>・机間指導をし、会話に行き詰っている生徒に支援する。</p>	<p>・デモンストレーションをする。</p> <p>・机間指導をし、会話に行き詰っている生徒に支援する。</p> <p>・生徒とペアでレシピの材料などについての会話のやり取りをする。</p> <p>・机間指導をし、会話に行き詰っている生徒に支援する。</p> <p>・生徒と会話のやり取りをする。</p>	<p>・既習表現の単語等を少し変えるだけで、会話に多様性が生まれることを確認させる。</p> <p>・既習表現を使って会話を考えさせる。</p> <p>・様々な英語表現を自由に出させる。</p> <p>◎ア【観察 振り返りカード】</p>
--------	---	--	--	---

	<p>中の特産物を使ったレシピを紹介する。</p> <p>A: <u>Hello.</u> B: <u>Hello.</u> A: What's this? B: It's 料理名. A: <u>OK.</u> What's this? / Is it sauce? B: It's miso. / No, it's not. It's miso(a burdock, a green onion). A: Miso. B: Fuchu is famous for miso(a burdock, a green onion). A: How's the ~? B: It's rich miso taste. • It's sweet. • It's sour. • It's spicy(hot). A: What do you have? B: I have carrots and onions. <u>Do you like onions?</u> A: <u>Yes, I do. I like onions.</u> B: <u>Thank you.</u></p>		
まとめ	5 振り返り		
挨拶	・挨拶をする。	・挨拶をする。	・挨拶をする。

10 板書計画

Unit5 学校の文化祭

Aim: お互いのレシピについて質問したり答えたりして、積極的に対話を続けよう。

カード① 自己紹介【顔】	カード② 自己紹介【好きなもの】	カード③ 自己紹介【得意な事】 【趣味】	レシピ紹介 Part1 Part3 Part2 料理方法
-----------------	---------------------	----------------------------	--

1 自己紹介
2 レシピ紹介
3 振り返り

11 パフォーマンステスト

自分のレシピについて、その料理の味などの感想を簡単な語句や文を用いて伝え合いながら、4往復程度の対話で話すことができる。

評価の観点	外国語表現の能力
A	○お互いのレシピについて、4往復以上のやり取りをすることができる。 ○相手の内容について関連することを質問したり、相手の質問にさらに即興で一言感想を加えて答えたりすることができる。
B	○お互いのレシピについて、4往復以上のやり取りをすることができる。 ○相手に内容について関連することを質問したり、相手の質問に答えたりすることができる。
C	○お互いのレシピについて、4往復以上のやり取りをすることができる。 ○相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができない。